特定外来生物

オオバナミズキンバイ

にご注意ください！

オオバナミズキンバイとは

〇中南米を原産とする多年生雑草です。
〇水陸両生のため、畦畔や畑地でも生育できます。
〇種子だけでなく、切断された茎や根部からも再生します。
〇種子は耐寒性が高く、泥土に埋没し越冬します。
〇ヒレタゴボウに似ていますが、花弁は５枚で大きい点が異なります。
〇特定外来生物に指定され、栽培・保管・移動などが原則禁止です。

花は 6～9 月頃に咲く
直径 3～5cmで、花弁が5枚

左:浮茎形葉、右:陸上形葉

水路に繁茂している様子

現 状 と 対 策

〇鈴鹿市内の水路及び水田への侵入が確認されています。
〇本田防除では、多年生雑草又は多年生広葉雑草に登録のある除草剤を使用してください。
〇畦畔ではロイヤント乳剤、収穫後の水田ではザクサ液剤の散布が有効です。
〇畦畔にオオバナミズキンバイが発生している場合の刈払いは、茎断片の拡散を助長するため逆効果です。
〇特定外来生物に指定されているため、生きたままの栽培、保管・運搬、譲渡、放出 は禁止されています。 除去したものを仮置きする際は、ビニールシートを敷いた上でアスファルト 等のところに置き、根付かないにようにしましょう。